

運送事業者向けアンケート調査項目

F1 貴社全体で届出している事業について、当てはまるもの全てを選択して下さい。

【複数選択】

- ①一般乗合旅客自動車運送事業
- ②一般貸切旅客自動車運送事業
- ③一般乗用旅客自動車運送事業
- ④特定旅客自動車運送事業
- ⑤一般貨物自動車運送事業
- ⑥特定貨物自動車運送事業
- ⑦貨物軽自動車運送事業

F2 貴社全体の従業員数を選択して下さい。

【択一】

- ①5 人未満
- ②5～9 人
- ③10～49 人
- ④50～99 人
- ⑤100～299 人
- ⑥300～999 人
- ⑦1000 人以上

F3 貴社（営業所）の所在地【市区町村名まで】をご記入ください。

【住所フォーム】

F4 貴社名及び営業所名をご記入ください。（〇〇交通(株) △△営業所)

【自由記述】

F5 ご担当者のご所属・お名前をご記入ください。

【自由記述】

F6 ご担当者のメールアドレスをご記入ください。

【自由記述】

貴営業所についてご回答ください。

Q1 運行管理者、運行管理補助者についてお聞かせください。

Q1-1 運行管理者（補助者）の状況について、法令上の最低人数は充足しているが、実態について、選択してください。

運行管理者が常に不足している →Q1-2-1 へ

運行管理者は時間外勤務や時間短縮の工夫等で何とか回せている →Q2 へ

運行管理者は十分足りている →Q2 へ

Q1-2-1 運行管理者が不足している理由をお聞かせください。

【複数選択】

専任の運行管理者を雇用する余裕がなく運行管理業務以外も兼任させている

資格やスキルを持った運行管理者が少なく雇用が難しい

他業種と比べ給与・待遇などがネックとなり希望者が少ない

業務内容や勤務形態などから定着率が低い

その他（ ）

Q1-2-2 運行管理者不足による課題をお聞かせください。

【複数選択】

運行管理者の時間外労働が常態化している

点呼の内容を省略したり時間を短縮することがたまにある

点呼の内容を省略したり時間を短縮することがよくある

点呼が実施できないことがたまにある

点呼が実施できないことがよくある

運転者教育を実施できないことがたまにある

運転者教育を実施できないことがよくある

その他（ ）

Q2 運行管理者の業務（乗務）前点呼の状況についてお聞かせください。

Q2-1 業務（乗務）前点呼について、1人（回）にかかる平均の点呼時間はどれくらいですか。

1人（個別点呼の場合）あたり 何分 何秒

1回（集団点呼の場合）あたり 何分 何秒

Q2-2 1人の運行管理者の1日の業務（乗務）前点呼回数は平均何回ですか。

1日平均 回

Q2-3 1人の運行管理者が業務（乗務）前点呼時に同時に行うドライバー数について、平均と最大の人数を教えてください。（複数人の同時点呼がない場合は「1」をご記入ください。）

平均 人 最大 人

Q2-4-1 1人（回）あたりの点呼・指示項目ごとにかかる時間を、分、秒でご記入ください。また、下記項目以外に営業所独自の取り組み項目がありましたら「その他」にご記入ください。

（初期値は0）

点呼項目	分	秒
日常点検の実施状況		
酒気帯びの確認		
疾病の確認		
疲労の確認		
睡眠状況の確認		
携行品等の状況		
安全を確保するための（運行ルートや休憩場所等）必要な指示		
その他1（ ）		
その他2（ ）		
その他3（ ）		
その他4（ ）		

Q2-4-2 上記の設問で、その他にご記入いただいた方は、その他1～4ごとに、内容をご記入ください。

Q2-5 業務（乗務）前点呼の項目数と所要時間は現在のままで適切だと思いますか。

点呼項目も所要時間も適切だと思う

点呼項目は適切だが、所要時間が過剰であり短縮した方がよい

点呼項目は適切だが、所要時間が短く増やした方がよい

点呼項目が不十分であり、点呼項目を増やしたほうがよい

点呼項目が不十分だが、ドライバーの時間が限られているため項目を増やせない

点呼項目が不十分だが、運行管理者の時間が限られているため項目は増やせない

点呼項目が過剰であり、点呼項目を減らした方がよい

Q2-6 点呼時に健康状態等の確認により、運行を中止する指示を出すことはどれくらいの頻度でありますか。

週に1回程度

月に1回程度

月に数回程度

年に1回程度

年に数回程度

ほぼない

Q2-7 点呼時に健康状態を把握するための工夫があれば教えてください。

【自由記述】

Q2-8 貴事業所では、以下の点呼を導入していますか。

IT点呼（営業所・車庫間の実施、「IT点呼」の届出を提出・受理）→Q2-9-2へ
遠隔点呼（営業所・車庫以外からも実施可能、「遠隔点呼」の届出を提出・受理）→Q2-9-1へ

自動点呼（ロボット点呼）→Q2-9-1へ

導入していない→Q2-9-2へ

Q2-9-1 遠隔点呼、自動点呼を導入され、貴社の点呼はどのように変化しましたか。

【自由記述】

Q2-9-2 遠隔点呼、自動点呼は導入されたいですか。

遠隔点呼を導入したい（理由： ）

遠隔点呼を導入したくない（理由： ）

自動点呼を導入したい（理由： ）

自動点呼を導入したくない（理由： ）

Q2-10 点呼が安全運行のために確実に行われ、効率化するには、遠隔点呼、自動点呼以外でどのような事項が考えられますか。

【自由記述】

Q2-11 事業用自動車事故調査委員会では、運行管理に関する再発防止策として以下の内容が記載されています。以下の再発防止策を実現するためのご助言がありましたらご記入ください。

- ① 運行管理に係る法令遵守の徹底
- ② 実態に即した運行計画の策定
- ③ 適切な運行指示、運行指示の徹底
- ④ 運行管理制度の見直し
- ⑤ 運行管理者のスキルアップ
- ⑥ 運転者の選任、新任運転者等の資質確保
- ⑦ 運転者教育の充実（運転者への指導・教育）
- ⑧ 安全運転の指導運転者の安全運転意識の向上
- ⑨ 適性診断の効果的な活用

【自由記述】

Q2-12-1 事業用自動車事故調査委員会の調査報告書は事業者において参考になりますか。

- ① 参考になる→Q3 へ
- ② 一部参考になる→Q2-12-2 へ
- ③ 参考にならない→Q2-12-2 へ

Q2-12-2 前問で、一部参考になる、参考にならない理由をお聞かせください。

【自由記述】

Q3 貴営業所の過去3年間の事故の状況について（この回答により、監査等に使用することはありませんので、正直にご回答ください）

Q3-1 貴営業所のドライバー数を教えてください。

○人

Q3-2 過去3年間で軽微な事故（自社内の壁にこすった等相手方（人・物）がないもの）は何件ありましたか。

Q3-3 過去3年間で自動車事故報告規則に基づく報告が必要な事故は何件ありましたか。
バスの車内事故（バス事業者のみ）：
その他事故：

Q3-4 過去3年間でそれ以外の事故（Q3-2とQ3-3以外）は何件ありましたか。

Q3-5 Q3-2～Q3-4の事故を起こしたドライバーの累積人数は何名ですか。

Q3-6 Q3-5の人数のうち、複数回の事故を起こしたドライバーは何名ですか。

Q3-7 事故を起こしやすいドライバーの特徴を教えてください。

【複数選択】

状況判断が遅い

正確さに欠ける

神経質

気分が変わりやすい

攻撃的（自己主張が強い）

自己中心的（協調性に乏しい）

自分をよく見せようとする

調子に乗りやすい

事故を起こしやすいドライバーがいないため分からない

その他（ ）

Q3-8 Q3-7で回答いただいた、事故を起こしやすいドライバーに対して、工夫していることがあれば教えてください。

【自由記述】

Q3-9 事故が発生しやすいと思われる運行状況の特徴を教えてください。

【複数選択】

定期的な運行にイレギュラーな運行が入る場合

急遽入った運行

走行したことのないルートでの運行

常時渋滞しているルートでの運行

長時間運転になる運行

拘束時間が長くなる運行（泊付きなど）

時間に余裕のない運行計画

休憩時間・休息期間が短い運行

ドライバーの休日明け

連続勤務が7日以上続いているとき

その他（ ）

Q3-10 Q3-9 で回答いただいた、事故が発生しやすいと思われる運行状況に対して、工夫していることがあれば教えてください。

【自由記述】

Q4 昨今の自動車運送事業における課題等について

Q4-1 今年の4月からドライバーの時間外労働時間の規制が強化されましたが、昨年度と今年度で変化したことはありますか。

【複数選択】

運賃が上昇した

ドライバーの労働時間が短縮した

ドライバーの給料が増加した

長距離運行を減らした（なくした）

営業所全体で運行回数が減少した

運行時間に余裕ができるようになった

運行依頼者の意識が変わった

時間規制ぎりぎりの運行となり、ドライバーの負担が増えた

取引先を減らした

変わったことはない

その他（ ）

Q4-2 ドライバーの不足状況についてお聞かせください。

【複数選択】

ドライバーを募集しても集まらない

ドライバーを募集する資金が不足しているため求人していない

ドライバーが不足しているため、運行を減らして対策した

ドライバーは十分足りている

Q4-3 時間外労働時間規制等について、安全な運行の観点からご意見があればご記入ください。

【自由記述】